



第4回助産実践能力向上研修



平成31年2月17日（日曜日）、山口県立大学において、山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター長 佐世正勝医師をお招きし、第4回助産実践能力向上研修を行いました。助産師10名の参加者でした。午前中は「超音波診断装置の原理」や「基本的操作と手順」「胎児の発育・健康状態をアセスメントするための計測部位」について講義していただきました。助産師に期待される超音波検査の役割、画像診断の利点と欠点、経腹エコーと経膈エコーの違い、Bモード法の意味や操作方法、操作時の基本的注意点や画像の実例まで詳しく講義がありました。



午後はシュミレーターと3名の妊婦さんに協力していただき、グループにわかれて演習を行いました。4名の講師がそれぞれグループごとにつき、一人一人丁寧にアドバイスしていただきました。超音波診断装置の操作と胎児計測などを実際に行い、今後、外来や分娩時に活かしたいという意見が多く、大変実りある研修会となりました。皆様の今後の参加をお待ちしています。

平成31年2月 山口県助産師職能委員会

